

- 展示時間：6/14 13:00-17:00, 6/15 10:00-17:00, 6/16 10:00-17:00, 6/17 10:00-14:00
- 展示内容：富士通研究所では、AIに関する幅広い技術の研究開発を進めてきました。さらに、社会インフラ、製造業、金融、医療など様々な分野において実社会への適用を進めています。本展示では以下の4テーマについてデモを交えて説明します。

<b>AutoML</b>	<b>専門家の知識を活用したプログラム生成型AutoML技術 ～ SapientML ～</b>	<b>NeuRecover</b>	<b>AIの重大な誤りをピンポイントで修正する技術</b>
<p>世の中のリポジトリにあるデータサイエンティストが作成したプログラムから、機械学習のコーディングを学習し、その知識をもとにプログラムを生成する生成AutoML技術「SapientML」についてご紹介いたします。本技術は、ソフトウェアエンジニアリングの最高峰の国際会議である ICSE2022 に論文として投稿し、採録された技術です。展示では Web Application として実装したツールのデモを行います。</p>		<p>AIモデルに重大な欠陥が見つかった場合、多くの場合は再訓練することで修正を試みますが、必ず修正できるとは限らず、また、正しい振舞いが誤りに劣化（デグレ）を起こす可能性があり、狙った振舞いのみを修正をすることは困難です。本展示では、正しい振舞いには影響せず欠陥のみに影響するパラメータを特定・調整することで、少量のデータでデグレを抑えてAIの欠陥修正を実現する技術を紹介します。</p>	
<b>ZS-VED</b>	<b>Zero-shot ビデオイベント検出</b>	<b>Actlyzer</b>	<b>AIと犯罪心理学を活用したコンバーシングテクノロジー ～特殊詐欺検知の取り組み～</b>
<p>任意の自然文で記述した文をクエリとして、ビデオアーカイブから場面を検索できる技術を開発しました。物体だけでなく「川にそって歩いている」のようなイベントや「ロマンチックな時間」のような抽象的な表現からも該当するシーンを検索できます。メタタグの情報を使わずに、自然文と画像の近さを計算することにより動画を検索できるため、ラベル付き学習データの作成にかかる膨大なコストが不要であり、幅広い適用が可能になります。</p>		<p>特殊詐欺被害の未然防止に向けて、富士通のAIを活用したヒューマンセンシング技術と、東洋大学の犯罪心理学に関する研究成果を組み合わせたコンバーシングテクノロジーを活用することで、特殊詐欺を高精度に検知する特殊詐欺推定AIモデルの開発を目指しています。2022年3月から尼崎市で開始したAIと犯罪心理学を活用し特殊詐欺を未然に防ぐ日本初の共同研究の取り組みについて紹介します。</p> 	